



四書國字辨

論語

四

□ 12
2319
5



仁12
2319
5

四書國字辯論語卷八

衛靈公第十五

衛靈公問陳於孔子陳トハ軍ノソ孔子對曰俎豆之事則嘗聞之矣ナハダテナリ

俎豆ハ礼器ナリ礼器ノ數多シ一ニヲアケテ答ヘタマフ靈公無道ノ君ナルユヘ問スレキコトヲトヘルナリ故ニ武事ニ對シテ文道ヲ以テ答ヘタマヒリ軍旅之事未之學也一萬二千五百人ヲ軍ト云五百人ヲ旅ト云周礼ニ出タリ云意ハ文道ハコレヲキケリ軍陳ノコトハコレヲマナズトナリ夫子ノ聖文武カ子

未事ヲ教ユヘカラズコノユヘニイマダマナビサルヲ以テ答ヘタマフ明日遂行ソナヘズト云コトナレ然レドモ文道ハ本軍旅ハ末ナリ本ト立タサレバ

本トラレラス只戰伐ノコトニ志シアリ故ニ在陳絶糧夫子衛ヲ去リ陳ニユキタマフ

從者病莫能興從者ハ夫子ニシタカヒユキレ弟子ナリウ

子路愠見曰子路夫子ノ聖德アリナカラカハルナシギニアイタ君子亦有窮乎君子トハヒコク云ウチニヲモニ夫子ヲサレ

子曰君子固窮君子タルモノモヨ

小人窮斯濫矣君子ハ窮スル時モ窮ヲ守リテアフレズ小人窮スル時アリ

子曰賜



四書國字辯論語

卷八

也汝以予為多學而識之者與識ハオボユルナリ子貢多識ヲツトメテツノ要ヲシラス故ニ夫子トヒラオコレタマフ

對曰然然リトハナルホトノウギヤト云ホトノ詞ナリ非與子貢夫子ノ言ニヨリテホソノ非ヲサトルナリ云心ハ

多クマナヒテ而メヲホユルト思日非也予一以貫之善ニ元アリ事ニ會ツリ元ハ始メ

ナリ會ハ終リナリソノ始ラシルトキハモロク善ラレル子曰由知德者鮮矣

コレ多クマナフヲ待スノ一以テコレヲ知ルトナリ子曰由知德者鮮矣

注意ノ如クナレバ夫子ノ糧ヲ多クマヒシ時ニ子路イカレル色ヲ以テミルヘレ注

アリ徳トハ道ヲ得テワガモノトナリタルヲ云ソレ徳ヲシルノ人得カタレ故ニスクナレ

トノ多子子曰無為而治者其舜也與無為ニ治ルトハ賢オラアゲ用ヒ官ニ任メ政ヲハケムニ無為ニ治ミルナリ

夫何為哉恭己正南面而已矣上ニ云ヘル如ク賢オノ人ヲアケ用ヒテ官ニ任メ政ヲサレメ舜ハナラカレタマフトミル

二只ソノ容ヲウヤクシクノ衣裳ヲタシ手ヲコマヌキテ子張問行

正シク南面ノ人君ノ位ニイマスヲミルノミナリトナリ身ヲ行フ外順利

道ヲトナキ子曰言忠信忠トハソノ云処心ヲツクメノコサズ人ノコラナスニワ

敬篤トハ重厚ニシ刻薄ナラサル敬ハ雖蠻貊之邦行矣蠻ハ南ノエヒス貊ハ北

行篤敬ナラハ中夏ハ云ニ及ハズ蠻貊ノ言不忠信行不篤敬雖州里行

遠國ニアルトモ行ハルヘントナリ言不忠信行不篤敬雖州里行

乎哉一萬二千五百家ヲ州ト云五家ヲ鄰ト云五鄰ヲ里ト云行乎哉トハヲコナレ

立則見其參於前也參ハ三ツトナルナリ其ノ忠信篤敬ヲ思フテソスレ

在輿則見其倚於衡也車ニアルトキハ忠信篤

夫然後行而後ニハシメテ一言一行自然ニ忠信篤敬ト

子曰直哉史魚史魚ハ衛ノ大夫名ハ鱗字ハ魚ト云史

伯玉合ノ君子ノ徳アルヲ歎美シタマフ邦有道則仕邦無道則可卷

而懷之邦道アレハ出テツカヘソノオラアラハ道ナケレハ子曰可與言而不可與言

與之言失人コノ人ヲレカヘリニサルユヘニコノ入ヲトリウレナクナリ不可與言

而與之言失言トモニカタルミシキ処ノ不賢ナル人トモニカタルトキハ知者不

知者不ノ言キカレズシテムナシクスタルユヘ言ヲウレナクナリ

失人亦不失言 トカタルヘキ人トカタリカタルミレキ人 子曰志士仁人 志士守

固不仁 不仁ノヲナサス人ハツノ 無求生以害仁 無求生ヲ以テ害仁ヲ 有殺身以成仁 有殺身ヲ以テ成仁ヲ

子曰工欲善其事 工ハ巧師ナリ 必先利其器 器ハ刀ナトノ器具ヲ

子曰居是邦也 是邦トハイツレノ邦トサ 事其大夫之賢者 事ハトキテ事ヲナス 友其士之仁者 友ハトキテ友トセ

子曰行夏之時 夏ノ時令ニシタガヒ寅ノ月ヲ春ノ初トスレバ四時正シク逐月ノ政令モ

問為邦 禮ミタレシユハ魯國ノヲサメカタヲトヘルナリ 子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

子曰行夏之時 萬

仲ハ魯ノ大夫ナリ位ニラルトイヘトモソノ番ニア知柳下惠賢而不與立也

タラスコノユヘニ位ヲヌスメルモノト同キトナリ

ヲヌスメルソユヘナリ凡ソ位ニアルモノハ賢オラヤケ用ヒテ君ヲタヌケ政事ヲハカルベキ

ナリ柳下惠ガ賢オアルヲシリナガラスメアケザルハコレ位ヲヌスルモノナリトソ柳下

惠ハ魯ノ大夫展獲字ハ禽柳下ハソノ領地惠ハ蓋ナリコノトキイマダ仕ヘサルモノナラントナリ

子曰躬自厚而薄責於人

則遠怨矣

身ヲセムルコトアツキユヘ身イヨクヲサセル人ヲセムルコトウスキユヘ人シタカヒ

ヤスレコノユヘニ人ニ

子曰不曰如之何

事ツイニ至リテハ已シカカ

如之何者吾

未如之何也巳矣

先ツコレヲイカンスヘキト云フコト思慮セス禍災ステニ云ツ

ナリ子曰羣居終日言不及義

三人以上ヲ羣居ト云士ノ羣居スルハ道義

ヲ講論スヘキコトナルニ終日トイヒシラ

テ義ノコトニ好行小慧難矣哉

小慧ハ小ノ智ナリコノ私智ヲ以テ調略ス

及ハサルナリ

子曰君子義以為質

質ハ操行ヲ云人ノ性同シカラ

患害マタ身ニ及フトナリ

子曰君子義以為質

スソノヨロシキ処ヲ以テハカラ

ヒステニ宜キ処ヲ得ハ事ノシタチナリ

禮以行之

信以成之

實ヲ以テ

君子哉

上ニ云ル如クナルハコレ君子

子曰君子病無能焉

能アルヲ

スラコレニカヘリ

求メテソノ徳ニス

不病人之不已知也

人ノ己ノカオ

サレハ心ニカケテウレ

子曰君子疾没世而名不稱焉

没世トハ身ヲ終ル

人ニシラレシコト

求メズトイヘ

子曰君子求諸己小人求諸人

君子ハヲコソカニツカ身ヲタモツトイヘ

心ニ

君子ハヲコソカニツカ身ヲタモツトイヘ

心ニ

君子ハヲコソカニツカ身ヲタモツトイヘ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

心ニ

毀誰譽吾ハ夫子自ラノタニヘリワカ世ニオケル平等 如有所譽者其

有所試矣フモシ人ヲホムル処アラハソノ人ヲコ、ロムルコトアリテ後ニ必スホムヘキ

ナリ又惡ラテラス民也三代之所以直道而行也 三代ハ夏殷周ヲサ

猶及史之闕文也史ハ書ヲツカサドレル官ナリ文ハ字ナリ古ハ 有馬者借

久乘之今則亡矣夫コトヲ夫子ノ見及ヒタニフ処ノ古風ナリ云ハ八乗車馬

タリコノ時ノ風俗ウスクナリユク子曰巧言亂徳小不忍則亂大謀

公前ニ出タリ巧言ノ人ハ是非ヲ變乱スルニ人ノ徳ヲウシナハシテ小不忍トハ忍ハ

容忍ノ忍ニテスコシノ一ニテモソノ惡ヲ見ノカレニスルトキハ大イナルハカリ一ヲミタリ

テヤブレスタ 子曰衆惡之必察焉衆好之必察焉衆ハ人勢ナリタト

ニクニル、臣必スソノ人ノ徳ヲトクト察シミルベシトナリ然ルニハコノ人衆僕ノ中ニアリ

テ賢ナリトイヘ臣コレカタメニクニル、一ヲアレハナリ又衆人ニヨミセラル、人ヲモヨノ

察シミル、一巧言ノ人ヨクソノ辨舌ヲ以テ人ニヨミセラル、一アハナリタ、仁者ノニヨ

ク人ヲ好惡ス、一正レキコトヲ得スト云フナレ君子トイヘ臣イニタ仁ナラサル人ハ衆

人ノ好惡スル、一ニソソノ實ヲ察セサルトキ私意ニヲホワレテ好

惡スル処アラサレアルニトクトコレヲ察スヘシトナリ 子曰人能弘道

非道弘以也道ハ先王ノ道ニソノ人タル処ノヲレヘナリ弘ハトハラシヒラキテ大ヒニスル

ナリ小ナルトキハ道モニタ從フテ小ナリ 子曰過而不改是謂過矣人モシアヤ

只人ヨクコトヲ大ヒニ用ヒ行フナリ 子曰過而不改是謂過矣マテアルト

キアヤチナル一ヲレリテスミヤカニ改ムルトキハ過ナキニカヘル 子曰吾嘗終日不

食終夜不寢以思無益不如學也コノ章ハ思ハカリテマナビサル人ノタメニタ

思フトイドモコレサラニ益ナキ一ナリタ、道ニシタ 子曰君子謀道不謀食食

ガヒ法ニヨリテ學ブノスミヤカナルニシカサルトナリ 子曰君子謀道不謀食食

リ人道ニアラバ立タズ故ニ君子ノマナブ一ノ道ヲ得只 耕也饒在其中矣只

一バカリヲハカリテ祿ヲ得ン一ヲハカラサルナリ 耕也饒在其中矣只

ス一ヲ知テマナビサルハ無智ノ人ナリソレ耕ス一ハ食ヲ得テ饒ヲフセカシタメナレ只

一ナレサルトキハ道ヲレササルニハ穀アリト云ヘ臣必ス人ニウハレ自ラ食スル一ヲ得只

ズ饒ソノ中ニアルナリ 學也祿在其中矣マナフ一ハ道ヲ得ン一ヲハカリテ食ラハカラガ

モソノ中ニアルナリ 君子憂道不憂貧マテフトキハ祿ソノ中ニアリ故ニ君子ハ道ヲ得カ

仁ヲ用テソノ官位ヲ守ルルヲア 雖得之必失之 祿位ソノ智ニヨツテ得ルトイハレ

位ヲウシテハストイヘ下ニゾク容貌莊嚴ナラサレ 知及之仁能守之 智コレニ及ヒテ

以莅之動之不以禮未善也 智及ヒ仁能守リ莊莅トイヘ正動靜礼ヲ

子曰君子不可小知而可大受也 君子ハ細事ノ上ニライテハソノ君子タル

大事ヲウケタモツナリ 小人不可大受而可小知也 小人ハ器量アサクセハ

子曰民之於仁也甚於水火 水火ノ人ニ

見蹈而死者矣未見蹈仁而死者也 水火ハ時ト人ヲ殺スアリ仁ハイ

子曰當仁不讓於師 凡ソ事ブニ必ス師父ニ

子曰君子貞而不諫 貞ハ

リ諫ハ信ナリ君子ハ權變ツ子キユヘ道ニカオモ理ノ正レキヲ得ル 子曰事君敬

其事而後其食 君子ノ君ニ事ルソノ職事ヲ大切ニシテ

無類 云ハ人ニ善惡ノ種類アリテ下愚ツラズト云ヘ正レキハ三善

子曰道不同不相為謀 道不同トハ君子小人善惡邪正類

子曰辭達而已矣 言

子曰階也及席 階ハ孔子ノ家ノ堂階ナリ門

子曰席也皆坐 孔子著者ニ鬼フトキ必ス

子曰某在斯某在斯 夫子坐中ノ人姓

子曰師冕見 師冕ハ魯ノ樂師著者

子曰階也及席 階ハ孔子ノ家ノ堂階ナリ門

子曰師冕出 事ヲハリテ

子曰張問曰與師言之道與 道カト

子曰師冕出 出テ去ルナリ

子曰張問曰與師言之道與 道カト

子曰師冕出 出テ去ルナリ

子曰張問曰與師言之道與 道カト

ト云カ如シ樂師トモノ云フコトナリ 子曰然ノ詞ナリ 固相師之道也 目
カクノ如スルコトナリ 子曰然ノ詞ナリ 固相師之道也 目
モノナルユヘ上ノ如クニアミ子ク
ツクル師ヲタスルノ礼ナリト

季氏第十六

季氏將伐顓臾 顓臾八國ノ名ニテ伏羲ノ後魯ノ附庸ナリ附庸ト云ハ庸ハ
功ナリ國小キナルヲ以テソノ政功ヲ大國ニ附ケテ天子ニ達
スルナリ顓臾ノ地季氏カ采邑ニチカキユヘ伐テコレアラワセント
欲スルナリ一説ニ附庸ノ庸ハ城ニテ大國ノツク城ナリ云ヘリ 冉有季路見

於孔子曰季氏將有事於顓臾 冉有子路コノ時季氏ニ任シユヘ此ノ心
ニ安セサルヲ以テ來リテ夫子ニ告ルナ
リ伐ツト云スノ事ト云ハ當時 孔子曰求無乃爾是過與 求ハ冉有ノ名
季氏ニツカヘテ居ルユヘナリ 孔子曰求無乃爾是過與 求ハ冉有ノ名
テ告クトイヘ氏夫子トリワケ冉有ガ名ヲヨヒタマフコトハ冉有季氏カタメニ收歛
ノ尤モ事ヲ用フコトユヘニ冉有ヲセメテコトナシギノレイタセルアヤマチニテハナキカト

夫顓臾昔者先王以為東蒙主 蒙ハ東ニアルユヘ東蒙ト云主トハ
顓臾ヲコノ山モトニ封メソノ山ツリヲ
先王聖人ノ立ル處ニシテ祭祀ノ主タリ故伐ツカラス 且在邦域之中
矣 且ツ顓臾ハ魯七百里ノ中ニアリト 是社稷之臣也何以伐爲 國ハ社
稷ヲ主

トス顓臾ステニ魯國ニ屬スルコトニ社稷ノ臣ト云附庸ハモト臣
ニアラサレトモコノ時ニ服セシナリコレマタウタレシキノ義ナリ 冉有曰夫子欲之
吾二臣者皆不欲也 夫子トハ季氏ヲサス孔子ニセメ 孔子曰求
氏ニ歸スルコトヲユルサス故ニ 周任有言曰陳力就列不能者止 周任ハ古
名ヲヨシテコレニツクタラフニ 周任有言曰陳力就列不能者止 周任ハ古
ノノ語ヲヒキテ人ノ臣タルモノソノオカラフヘシキ位ニツキテイルウヘカノ及ブカギリ
ハコレヲツクスヘシカノアタフヘシキ時ニ至ラハヤメ去リテ仕フカラスコト冉有季氏
ヲイサメサルコトヲ 危而不持顛而不扶則將焉用彼相矣 今ナンチ人ノ
セメタマヘルナリ 危而不持顛而不扶則將焉用彼相矣 今ナンチ人ノ
用タルソノ危キヲタモチ顛ルラタスクタトヒ季氏ニタリニウタント欲スル臣ナンチコレ
ヲイサメ止ムヘキコトナルニ危キヲタモチ顛ルラタスクタトヒ季氏ニタリニウタント欲スル臣ナンチコレ
ヲ得ンスクハサル 且爾言過矣 ナレチ臣トソノイサメヘキヲイサメスメ夫子コレヲ
ヲ責メタマフナリ 敬スレニ臣ハ欲セスト云ハコレアヤマテルナリ

虎兕出於柙龜玉毀於楨中是誰之過與 又タトヘラモウケテツノ罪
ナリ柙ハケモノヲ入ル牢ナリ龜玉ハ三ナ重寶ニテ龜ハウラナヒニ用ル龜甲ナリ楨
ハヒツナリ云ハ柙ト楨トヲ守ルモノトカナリ然レハ季氏コノ非ヲナサンニナンチラ
輔相トコトメサレハコレ 冉有曰今夫顓臾固而近於費 固ハ城郭甲兵
ハ季氏カ邑 今不取後世必爲子孫憂 今ノ時ニ顓臾ヲウチトラスハ
ノ名ナリ 今不取後世必爲子孫憂 後ハカナラスカレ費ヲオカシテ

今不取後世必爲子孫憂 今ノ時ニ顓臾ヲウチトラスハ
ノ名ナリ 今不取後世必爲子孫憂 後ハカナラスカレ費ヲオカシテ

季氏カ子孫ノウレヲナサシ故ニ今ウダシトハカルナリト冉有フノ罪ヲ夫子ニセメテレ詞ヲ
 カヘテ季氏ガタメニ云ヒホドキテワガ罪ヲノカレントスレトモコノ詞ニテハレメヨリコノ
 ノハカリノニアツカ 孔子曰求君子疾夫 孔子冉有カ言ノ虚妄ナルヲ示
 リレラレラレナリ 舍曰欲之而必更爲之辭 利ヲムサホルト云ハズメ
 タルモノハナシガ言ノ如ク 丘也聞有國有家者不患寡而
 患不均 國ヲタモツハ諸侯家ヲタモツハ大夫均シトハ上下各分ニカナヒテ凡ニソノ
 必ズソノ詞ヲツクリテコレヲ多クムコトヲニクムト 丘也聞有國有家者不患寡而
 ナリコレ上ノイヒホドキノ詞ヲセメタマヘルナリ 均シクハ民ノスタナキヲウレハスメ政事ノヒトシカ
 ヲ得ルヲ云ソレ有國有家モノハ上地人ノスタナキヲウレハスメ政事ノヒトシカ
 ラサルヲウレフ今季氏顯更ヲウダシトハカルコトハ民ノスタナキヲウレハスメ政事ノヒトシカ
 貧而患不安 民ノヲウキテアハフ心ナキヲ云 蓋均無貧和無寡安無
 傾均トハ政教ノ分サタマリテ平均ナルヲ云平均ナルトキハ財トホシキコトナレト上下ノ心
 和スルトキハ相ノムクコトナキコトハ民ノスタナキ患ヘナレ人心安シクアハフムコトナキトキ
 ハ國家カタキヤフ 故遠人不服則修文德以來之 苗ヲ從ヘレナリ遠
 ルノウレヘナキナリ 既來之則安之 苗ヲ從ヘレナリ遠
 人ハ遠國ノ人服ハレタカフナリ文德ノ 既來之則安之 苗ヲ從ヘレナリ遠
 教化ニ感メ來服セシムルコトナリ 心ナカラシ 今由與求也相夫子 一トヒニムキタルヲセメタマフナリ 遠人
 不服而亦不能來也 云ニ遠人ト云ハ顯更ヲサシテ云コレ文教 邦分崩離折
 而不能守也 民ノ異心アルヲ分ト云去シテ欲スルヲ崩ト云アツニラサルヲ 離折ト
 云ナリ三家ノ臣ハクソムケルニ子コレヲスライテ國ヲタモチ守ル
 一トアタ 而謀動干戈於邦内 千ハタテ戈ハホコナリ民ニ異心アリテ國ニタシ
 ハス 吾恐季孫之憂不在於顯更而在蕭牆之内也 蕭牆ハ屏ナリ季氏
 レトスレレワレ恐ラクハコノ均和ナラス分崩離折 孔子曰天下有道則禮樂征
 スルヲ以テ子孫ノ世ヲタスノシカキ也 孔子曰天下有道則禮樂征
 伐自天子出 禮樂征伐凡ニ先王ノ作ル処天 天下無道則禮樂征伐自
 諸侯出 礼天下道ナキトキハ天子微弱ナルユハ天子ミツカラ行フ一トアタ 自
 ハス故ニ諸侯ヨリ出ルナリ五霸ヨリカハルコトヲコルカトトシ 諸侯出蓋十世希不失矣
 十世ハ十代ナリ云ハ礼樂征伐諸侯ヨリ出ル
 十キハ大畧十世ニ國ヲウレナハサルコトナ
 十トナリ大夫出五世希不失矣 魯ノ三家晋ノ 陪臣執國命三世希
 六卿ノ如シト 陪臣執國命三世希
 十トナリ大夫出五世希不失矣 魯ノ三家晋ノ 陪臣執國命三世希
 六卿ノ如シト 陪臣執國命三世希
 十トナリ大夫出五世希不失矣 魯ノ三家晋ノ 陪臣執國命三世希
 六卿ノ如シト 陪臣執國命三世希

道ノ初變大文ヨリ出ルハ再變陪臣國命ヲトルハ變ノ極ナリ十世ハ周ノ幽王無道
 二トナリ殺サレテ子平王東遷ヨリ周ハレメテト口諸侯ヲ制スルコトアタラス

諸侯三ツカラ礼樂ヲ作り専ラ征伐ヲ行フ一隱公ニ始リ桓公莊公閔公僖公文公宣
 公成公襄公昭公ニ至テ季氏カタタニ乾侯ノ地ニ死スコレナ代ナリ五世公季文子ハ公之政ヲ
 得テ武子悼子平子桓子ニ至テ五世家臣陽虎ニトテヘラレ三
 世八陽子季氏カ家臣タリ陽虎ニ至テ齊ニ出奔スルカコト也
 天下有道則政不
 在大夫二有道ノ世ニハ礼樂征伐天子ヨリ出ルニヨリ政事大 天下有道則庶人

不議政ノ得失ヲ評議セサルナリ 孔子曰祿之去公室五世矣祿公知

君家ト云カ如レコレ魯ノ定公ノコナリ魯ノ襄仲文公ノ子赤ヲコロシ宣公ヲ立テ
 シヨリ政ニテ大夫ニテ爵祿ノ下ニ居君ノハカラヒレタマフコトアタラス宣公成公襄

公昭公定公ニ至 政逮於大夫四世矣大夫ハ三家ヲサス 政大夫ノ家ニ至リ及

武子悼子平子ヲヘテ四世ナリ 故夫三桓之子孫微矣三桓ノ子孫トハ

孫ヲ云三卿三桓公ノ子孫ナルト云三桓ト云三桓ノ家臣 孔子曰益者三友益

損者三友友ナクニ損アル人ニツアリコレ

友直友ナクニ損アル人ニツアリコレ

友多聞多聞トハキレルコト多キ人ヲ云コレニ友

友諒諒ハコトナリイッ

友直友ナクニ損アル人ニツアリコレ

友多聞多聞トハキレルコト多キ人ヲ云コレニ友

友諒諒ハコトナリイッ

益者三樂樂トハコノ三子ガフコナリ人ニ

損者三樂人ニ損アルコノ三

禮樂節ハホトヨクスルコトナリ礼樂ヲ節ストハ礼ノ儀

樂道人ノ善事

樂多賢友賢オノ友多カラシ

樂多賢友賢オノ友多カラシ

樂多賢友賢オノ友多カラシ

樂多賢友賢オノ友多カラシ

樂多賢友賢オノ友多カラシ

樂多賢友賢オノ友多カラシ

樂多賢友賢オノ友多カラシ

樂多賢友賢オノ友多カラシ

樂多賢友賢オノ友多カラシ

コト云フテヨキ時トヨカラサル時トアリソノ
顔色ヲハカリ見ズノ云ハ瞽者ノコトトナリ

子曰君子有三戒
一曰少之時血氣未定戒之在色
二曰壯之時血氣方剛戒之在闘
三曰老之時血氣既衰戒之在得

及
其壯也血氣方剛戒之
及
其老也

血氣既衰戒之在得
老ハ五十以上ヲ云得トハムサボルコトナリ血氣ステニラ

孔子曰君子有三畏
一曰畏天
二曰畏聖人
三曰畏大人

小人不知天命而不畏也
聖人之言不可侮也

子曰生而知之者上也
學而知之者次也
困而學之又其次也
困而不學民斯爲下矣

子曰君子有九思
一曰視思明
二曰聽思聰
三曰色思溫
四曰貌思恭
五曰言思忠
六曰事思敬
七曰心思敬
八曰言思忠
九曰事思敬

子曰見善如不及
見不善如探湯

孔子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

子曰見善如不及
見不善如探湯

手ヲ以テ熱湯ヲサクラレムルガ如ク急ニノカレ 吾見其人矣 吾聞其語矣

顔淵関子鷹ノトモカラヨクカクノ如シ故ニ夫子ニツカラノタニフワレ上ノ二事ノ

コトキ人ヲ見ルトツノ語ヲキクトハ古人ノ語ニカクノ如キノコトアリトナリ

隱居以求其志 天下道ナキトキハ隱居ストイヘ凡伊尹ノ有莘ノ野ニタカヤセ

行義以達其道 天下道アル時ハ出テツカヘ君臣ノ義ヲ行ヒカ子テ 吾聞其語

矣未見其人也 孟カレ夷齊ノカクノ如シコレノ語ヲキクナリ今世カクノ如キ人

論レ及サスト古義ニ見ヘタリサモアラシカ 齊景公有馬千駟 千駟ハ四

之日民無德而稱焉 景公生ケルトキ徳ナクメ馬多シ死スルトキ身名 伯夷

叔齊餓于首陽之下 伯夷叔齊ノ二ハ前ニ見ヘタリ首陽ハ山ノ名武王討王

之謂與 馬ノ多キヲ以テ稱セズノ徳ヲ以テ稱ス有 陳亢問於伯魚曰

子亦有異聞乎 陳亢ハ子禽ナリ伯魚ハ鯉ナリ孔子ノ子ナルユヘオレフル処

ト問フ對曰未也 異ナルヲシヘライニ 嘗獨立 堂上ニタテリ 鯉趨而過

庭 夫子ヒトリ立テ堂上ニアリ鯉ハシツテ中庭ヲス多尊者 曰學詩乎 夫子伯魚

兄弟ニラレヘタニフ処ノコニテカ分タルナキコトアカセリ 對曰未也 伯魚コタ

ヘシト 曰不學詩無以言 詩ノヨシタル天道ソナハリ人事アニ子シ而シ善惡得

鯉退而學詩 夫子ノ旨ヲ得テ退テ 他日又獨立 堂上ニ立タニヘリ 鯉

趨而過庭曰學禮乎對曰未也不學禮無以立鯉退而學禮 辨

上ニ同レ礼ハ恭儉莊敬身ヲ立ルノ本人トシ礼アル時ハ 聞斯二者矣 又陳亢ニコタニツ

安ク礼ナキ時ハ危シ礼ヲ學ビヤバ身ヲ立テナレト也 詩礼ノ二事ヲキクフ又得ルトキハ君子ヒ

遠其子也 一トハ陳亢トフ処ニトハ伯魚キクク処ノ詩礼ノ二事ニ君子ノ子ヲ遠クノ事

トリ子ヲ遠クシテスレテ 邦君之妻君稱之曰夫人 邦君ハ国君ナリ諸侯ヲ云

遠クルトト明ラケレ 正レタニヘルナリ云心ハ諸侯ニツカフソノ妻ヲヨシニ夫入ト云フナリ 夫人自稱ヨ

四書章句 卷四

正レタニヘルナリ云心ハ諸侯ニツカフソノ妻ヲヨシニ夫入ト云フナリ 夫人自稱ヨ

正レタニヘルナリ云心ハ諸侯ニツカフソノ妻ヲヨシニ夫入ト云フナリ 夫人自稱ヨ

正レタニヘルナリ云心ハ諸侯ニツカフソノ妻ヲヨシニ夫入ト云フナリ 夫人自稱ヨ

正レタニヘルナリ云心ハ諸侯ニツカフソノ妻ヲヨシニ夫入ト云フナリ 夫人自稱ヨ

正レタニヘルナリ云心ハ諸侯ニツカフソノ妻ヲヨシニ夫入ト云フナリ 夫人自稱ヨ

小童小童ハ幼少ノ目ナリ夫人ノ夫ニムカヒテ邦人稱之曰君夫人邦人ハ
自稱自ラ稱シヘリクダリテ云ヘルコトハナリ邦人稱之曰君夫人邦人ハ
ノ民入ナリシガ君タル夫ノ夫ニムカヒテ稱諸異邦曰寡小君他國ノ人ニ對シテ云ヘル
夫人ト云フ義ナリ詞ナリ小君ハ夫人ノ通稱ナリ寡小君他國ノ人ニ對シテ云ヘル
寡トハ徳スクナレト云フニテヘリクダレル異邦人稱之亦曰君夫人
詞ナリ君自ラ稱シ寡人ト云ヘルガ如シ他國ノ人ニ對シテ云ヘル異邦人稱之亦曰君夫人他國ノ人ニ對シテ云ヘル
ルモノ國ノ人ト云フニテ諸國ノ君嫡妾ノ稱謂ニタレテ正レカラス夫子コレヲノタテハ名ヲ正フルノ意ナリトナリ

陽貨第十七

陽貨欲見孔子陽貨名虎ト云季氏が家臣ナリ季が勢ヒオトト季子桓子トリヌキ
テ國ノ政事ヲホシイニスルニヨリ孔子ノ仕スル居玉ヲ我カ方ヘ

來ラセ已レニツク夫子ヲヨヒケレ孔子不見ユキテアヒ共ス歸孔子豚外ニアリテ自ラウチサレバ

明日大夫ノトニユキテ拜謝スヨリ陽貨夫子ノ家ニイサレ時ヲウカヒテ豚ヲオケリテ來謝言
リテアノトノハカリナリ孟子ノ説ニヨレハカクノ如シ然レハ貨ハ實ニ大夫ニアラス玉葆ノ説ニヨレハ

大夫ノ多リ物ハ家ニシテモ又ユキテ謝ス同輩ノ多リ物ハ家ニテウシレバユカス孔子時

其亡也而往拜之トトハ家ニ居サル時ヲ云夫子貨ガ意ヲ遇諸塗夫子謝

爾時貨ト云フ謂孔子曰來貨夫子ヲワカ予與爾言貨ガフルイ

曰懷其寶而迷其邦可謂仁乎寶トハ夫子ノ道徳ヲサス云心ハ仁者ハ民ヲアハレ
仁者ト云又キカトコレ出テ仕ヘラレト謝ス

曰不可コトハ仁者トイハレトトハノ道徳ニヨ好從事而亟失時可謂知乎好從事トハ夫子ノ諸國ヲヘメタリテ君ヲ求メ玉ヲ

矣歲不我與日月ハスミヤカニスキサリテ年ノミワレト共ニトニラストコレ夫子孔子

曰諾コレタコタヘノ詞ナリ吾將仕矣將トハカクノ如クセントイイタ必トセナルノ詞

故ニカクシテト貨ニ任シト玉ヲシテ始終タ道徳ニニコタヘテ事ヲ論辨ス

貨ガ心ヲサトザル者ノ如シヨリテ貨モ亦レテ云フアタハズンヤメリ○朱子ヲモヘラク陽

貨夫子ノ徳ヲ寶トメアハニク欲スル意善ナリトイハレゾノ趣已シ助ケテ乱ヲサレメニク

ハ事体ノ輕重相カナハニク欲ナリトイハレニテコトヲサケザルハカレ必シモ化スニレキニラ

サルガ故ニイタタタガナルナリ問モシタガヒテ答ルハ理ノ直キナリ答ヘテ辨セサルハ言ノ穢ヒテ

理ヲケテ或ハ理ヲ直ク害ヲトランタ、聖人ノミ

子曰性相近也性トハ人ノ天ニウチ

者ナリ其本理ニイットイハレ氣質ニヨラサレバ成ルアタハズ氣質トハ陰陽五行ノ氣ヨリカ

タマリテ人ノ体質トナルモノナリ理ハト善ナリトイハレ氣質ニ清濁美惡アル故ニ性モ亦

コレト共ニ成リテ智愚賢不肖同シカラズ然レモ
 生ル、初メハナリ相チカクノ甚タコトナルニアラス
 ノナラフ処ニシテ人ノ品日々ニ相トシタルナリ性善ナルモノ善ニナラフハバヨク善ナリ
 惡ニナラフハバヨク惡ナルモノナラス善ナルモノモ惡ニナラフハ亦惡ナリ惡ナルモノモ善ニ
 ナラフハ亦善ナリコレノ初相近キガ故ナリ○凡ソノ人性ソク本体ハ善ノ氣質ニ美惡
 アリ只渾然トシテ性ヲ云時ハ三ノ理ヲ以テ氣質ヲカキテ云此ノ章ノ如キコレナリ又理ヲ
 小ニシテ云リ天命性善ノ性コレナリ氣質ヲ主トシテ云アリ大ニシテ云リ人トシテ性食色ノ性コレ也
 世ニタノ人ノ善惡天性ニカレリトシテ思ヒテ習ヒヨル処ノシモキコトヲ知ラスヨリテ夫子人
 幼少ヨリナラフ処ヲツレシメ
 子曰唯上知與下愚不移
 上知ハ上品ノ智ヲ有テ
 下愚ハ下品ノ愚
 者ナリ此ハコレ上ノ章フウケテ云人性相近キガ中ニ又ソノ美惡一定ノ習ヒヨク移ス処
 ニアラサルモノニツラレトシテ然レモ唯コレノミウツラストノモ時ハソノ中等ニヨルハハ
 ナウツルハキノ心アリ蓋シ中ノ人最モ多キ故ニ三ノ章ニツラレテ習フ処ヲツレシメハキコト
 知ラレルナリ或ル人ヨモヘラク此ト上ノ章ト合セテ一章トスベシ子曰ノ二字ハ衍文
 ナルヘレト○程子シモヘラク人性モト善ナリソノ移ラレサルモノ何ソヤ其性ハミナ善
 ナリトイヘレト○程ハ則下愚ノ移ラレサルアリ下愚ニツラレテ自暴自棄ナリ人モレ善ヲ
 以テ自治ル時ハウツラスト云コトナシ昏愚ノ至リトイヘレトハミナヒタリミカキテスムヘレタ、自
 暴者ハ道ヲ信セズノコレヲフセグ自棄者ハ道ヲ行ハスコレヲツラレテ聖人コレト共ニ居ル
 人ハ化道ニ入ルコトアタハズ仲尼ノイユル下愚ナリ朱子シモヘラク下愚ノ移ラレサルモ
 只コレ氣質甚ダトリテ自移ルコトヲウケハサルナリ氣質ノヲトル故ニ移ラレサルニアラ
 サル
 子之武城聞弦歌之聲
 武城ノ宰トナルトキ夫子門人ヲヒキツレテ
 武城ニコト子游モテムカヘテレタカヘリコトニ
 邑人ニカレニ絃歌スル聲アルコトヲキケリ
 夫子莞爾而笑曰割雞焉用
 牛刀
 莞爾ハニコトヲウツル牛刀ハ牛ヲトクカ多ナリ
 雞ハ邑ノ小キナルニタトスカハ礼樂
 其詞ハ下カメ玉ヲ以テ
 子游對曰昔者偃也聞諸夫子曰君子學道則
 愛人小人學道則易使也
 君子小人ハ位ヲ以テ云道トハ禮樂ニ云テ礼樂ニ亦
 ヒキテ云心ハ君子小人ニテ道ヲ學ビバアルヘカラス
 ヨリテ小邑ナリトイヘレトユルニ礼樂ヲ以テスト
 子曰二三子
 二三子ツレタル門人ノ偃
 之言是也
 道理正シ
 前言戲之耳
 雞ヲサクノ言ハタハフレテイヒツレト此ノ二
 又門人ノキニトヒアラシク恐テ實ヲ明シ玉ヘルナリ○夫政ヲスルニ大小アリ然レ
 氏ソノ大小ニシタカヒテ礼樂ヲ用ルハカハリナレ但衆人コレヲ用ユルコトアタハズ子游
 ヨクコレヲ用フ夫子思ヒカケズ絃歌ノ声ヲ聞キテ深ク喜ヒ玉フ故ニソノ詞ヲウラ
 カヘレテコレヲ戲シ玉フ然ルニ子游正道ヲ以テコトヘケルニヨリテ則ツク言ヲ是ナリ
 トン自ラソノ戲シ
 公山弗擾以費
 公山ハ姓弗擾ハ名季氏費邑ノ宰
 明レ玉ヘルナリ
 召
 夫子ニ聘使ヲツカ
 子欲往
 夫子ソノ聘ヲウケ
 子路不説
 子路夫子ノカノ聘ヲ
 曰未之

武城ニコト子游モテムカヘテレタカヘリコトニ
 邑人ニカレニ絃歌スル聲アルコトヲキケリ
 夫子莞爾而笑曰割雞焉用
 牛刀
 莞爾ハニコトヲウツル牛刀ハ牛ヲトクカ多ナリ
 雞ハ邑ノ小キナルニタトスカハ礼樂
 其詞ハ下カメ玉ヲ以テ
 子游對曰昔者偃也聞諸夫子曰君子學道則
 愛人小人學道則易使也
 君子小人ハ位ヲ以テ云道トハ禮樂ニ云テ礼樂ニ亦
 ヒキテ云心ハ君子小人ニテ道ヲ學ビバアルヘカラス
 ヨリテ小邑ナリトイヘレトユルニ礼樂ヲ以テスト
 子曰二三子
 二三子ツレタル門人ノ偃
 之言是也
 道理正シ
 前言戲之耳
 雞ヲサクノ言ハタハフレテイヒツレト此ノ二
 又門人ノキニトヒアラシク恐テ實ヲ明シ玉ヘルナリ○夫政ヲスルニ大小アリ然レ
 氏ソノ大小ニシタカヒテ礼樂ヲ用ルハカハリナレ但衆人コレヲ用ユルコトアタハズ子游
 ヨクコレヲ用フ夫子思ヒカケズ絃歌ノ声ヲ聞キテ深ク喜ヒ玉フ故ニソノ詞ヲウラ
 カヘレテコレヲ戲シ玉フ然ルニ子游正道ヲ以テコトヘケルニヨリテ則ツク言ヲ是ナリ
 トン自ラソノ戲シ
 公山弗擾以費
 公山ハ姓弗擾ハ名季氏費邑ノ宰
 明レ玉ヘルナリ
 召
 夫子ニ聘使ヲツカ
 子欲往
 夫子ソノ聘ヲウケ
 子路不説
 子路夫子ノカノ聘ヲ
 曰未之

日書圖說 卷四 三

也已 云心ハ今道スレニ行ハズ 何必公山氏之之也 ツトメテ夫ナノユカントレ

子曰夫召我者而豈徒哉 ナラシヤト云心ハ必我ヲ用ヒトスリ 如有用我

者吾其為東周乎 為東周ハ周道ヲ東方ニシコサント周ハ中国ノ西ニアリ

スラハ再周道ヲコニシコサント只コレ子路夫子ノイテ玉フツスルドトトメントス

心ヲテハナリテ弗擾ニユカク欲スルコトカクノ如レトノ玉フニアラスノ程子

ヲモヘラク聖人天下ニスルコトアルニキ時ナク亦過ラ改ムビキ人ナレト思ヒ

リテ弗擾ニモユカク欲ス然レツイニユカサルコトノ必改ムルコトヲシキヲ知ル

カニ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

ナリ 子張問仁於孔子孔子曰能行五者於天下為仁矣 五ツノ目

焉能繫而不食只コレ上ノ句ノ心ヲ足シテ云ナシヨク飽瓜ノ處ニツリカリテ飲食セザルガ如クナルヲ得ント食ハストハ只作用ノ事ニツキテ云別意

義ナレ此ノ二句夫子ノ可モテク不可モテク行藏進退自由ナル見ツヘシ蓋シ必ス

ウスロカズクニナルノ本体アリテ然ラ後ニ飽瓜ナラザルノ作用アルナリ○張氏云子路

昔者ノ聞ケル處ハ君子身ヲ守ルノ常法夫子今日ノイフ處ハ聖人道ニ体スルノ大權

ナリ然レハ夫子公山弗啓ガ召フニヨイテユカニク欲スルヲ天下ニ變スベカラサルノ人ナク

為レカラサルノ事ナキヲ以テナリソノツイニユカサルノ人ツイニ變スベカラサルノ事ツ

イニスベカラサルヲ知レルノ三ツハ則物ヲ生スノ仁一ツハ則人ヲ知ルノ智ナリト蓋シ子路公

山ガ召フ時ニ疑フ處スレニ聖人ノ説ヲキクトイハレコニ至リテ又コレヲ疑フ自カヘリ

思ヒテツイニ安ニスルノ多ハサレハナリヨク聖人ヲ學ブモノトイヒツベレニハ聖人ノ地位ニ

至ラザルモノノ如キハ寧子路ヲ學ブニ然ラズバロラ聖人ニ借ツテ乱賊子曰由

ノ徒エツカヘソノ身ヲハツカレムルヲ免レシ豈ウスロカズクニナルヲ得ンヤ

也女聞六言六蔽矣乎蔽トハサキリヲホハルノ處アル云云六言六蔽トハ人ノ對曰

未也イニタキ居吾語女社ニ君子トフ端ヲアラタムレバ則起テコタフ子路天子

告ケ玉カスト好仁不好學其蔽也愚此コリ下仁知等コレ言ナリニテ作用ニツキテ

好信不好學其蔽也賊行ニ属ス學ハソノ仁智ノ理ヲ明ニスルヲ云知

好直不好學其蔽也絞賊トハ物ヲソコナク云事ソノ信

好勇不好學其蔽也亂勇ハイサニテ果スニ急ナリヨリテ

好剛不好學其蔽也狂其レウガホレイマニノ人ヲレキ

子曰小子門人ヲヨヒ何莫

學夫詩詩學ヲ詩可以興コレヨリ詩學ノ益ヲトク興ストハ人ノ志意ヲ感シ

詩可以觀コレヨリ詩學ノ益ヲトク興ストハ人ノ志意ヲ感シ

詩可以怨コレヨリ詩學ノ益ヲトク興ストハ人ノ志意ヲ感シ

詩可以事コレヨリ詩學ノ益ヲトク興ストハ人ノ志意ヲ感シ

詩可以學コレヨリ詩學ノ益ヲトク興ストハ人ノ志意ヲ感シ

多識於鳥獸艸木之名上六ソノ餘リニハ又多識ノ益ヲトルニ足レリ凡ソ詩出ル

處ノ名物只ソノ名ヲレノミテアラス亦ソノ比興ニ下ル

日書國學辨論語 卷四 十四

外義ヲ知ルニコレ格物ノ一端ナリ○詩ヲ学ブノ法此
章コレヲ盡クセリ学者ヨロシク心ヲツクヘキ処ナリ 子謂伯魚曰女爲周南

召南矣乎 周南召南ハ詩ノ首篇ナリ周召ハ三才岐周ノ故地ニテ周公召ルルノ領地トナ
ル文王ノ德化岐周ヨリ南方ノ諸侯ノ國ニ及ブ此ノ詩ニアル故ニ南ト云周
公召公諸侯ヲウケ治メテシテ化行ハレユニ周召ヲ以テウカテリコレ詩ヲ
学ブモノハシメニヨクキクメニルヘキ処ナルニヨリテコレヲ生ラセ玉ヲナリ 人而不爲

周南召南其猶正牆面而立也與 コレ二南ヲマツヨク学スヘキ故ヲトク牆ハツイ
トノホレノ風化ニテ最人倫日用ノ親切ナル処ノナリヨリテ人タルモノコレヲ学ヒザレバ
ムキニ牆ニムカヒテタテルガ如クセント云心ハソノ至リテ近キ処ニラモ一物モ見ズ一歩モユカレ
ズレキトソ知行共ニラサ

子曰禮云禮云玉帛云乎哉 玉ハ圭璋類帛ハ東
帛ハキトヲ云ヘリ

子曰樂云樂云鐘鼓云乎哉 鐘鼓ハ樂ノナリ物ナリ
サテ物ナリ世ノ人ツ子ニ礼トイヒ礼ト云処ノモノツノ實ハタ玉帛ノミヲ云フニアラスト云心ハ
心ニ存スル敬ヲ本トシコレヲ行フニ玉帛ヲ以テスコレ礼ナリト蓋シ敬ハ本ナリ玉帛ハ末ナリ
時々人々未ニコレヲ事トスル故ニ

樂云樂云鐘鼓云乎哉 鐘鼓ハ樂ノナリ物ナリ
コレヲ業スルニ鐘鼓ヲ以テスコレ樂ナリ向義上ニ同レ○程子ノ云テ礼ハ只コレツノ序
ナリ樂ハコレツノ和ナリ只コレノ兩字多ク義理ヲフシタクハフ天下ノ物トシテ礼樂ナ
ト云コナレ学者スヘカラス識リ得シヲ要スヘト序ハ物ツツイテナリ此ノ序

和ト人心ノ敬ト和トノ行ハル事ニツキテ云心事カ子アワロ見テノ義コレ全
色厲而内荏 色トハ顔色ヲ主トス亦スベテ一身ニアラハル者ヲカ子テ云内ハ心ナリ
内柔弱ナル故ニ外ニ威嚴ノイロカタチヲナレテ人ニラモシラレ

位ニアルモノニツキテイヘルトラス 譬諸小人其猶穿窬之盜也與 小人ハ
サス穿オハカフウカツ窬ハ牆ヲコユルソ上ニ云コトクニラフノ下ニ云ゾム者ハ人ノ上ニル徳ヲ
民間ニライテツノタトヘラトルニラレテ穿窬スルヌス人ノ如キカトソノ實ナリ 各ヲヌスル
人ノ知ラシコト恐ルヲ以テナリ○人ノ色厲而内荏キハ此章ニ云処ト相 皆キテソノナリ
究メ賊ト同レコニハ只上ニ居テ下ニツムヲ非ナルモノヲ云

子曰鄉原德之賊也 鄉トハ鄙俗ナル心原ハ愿ト同レ勤ハ厚キナリ賊也トハ
士君子ノ公論ニラフスノ只鄙俗 中ニテニテ稱ノ愿人トスル
モノナリソノ人トナリタダレ俗ト同レラレレニテ世ト共ニテ 詩ニモヨクイハルヤウニスルヲ以
テ中庸ノ君子トキルハ処アリコレ徳ニ以テ徳ニラス 及テ徳ヲニタルヲ務メテ昔ヲ

三タルガ如クナルニヨリテ徳ノ賊ト云賊トハソコナフ音子 子曰道聽而塗說德之
深クニテニテノ詞ナリ詳ニ孟子ノ未嘗一見ヘタリ

棄也 道トハソノ道ニテノニチラ云塗トハユクサキ道ヲサス善言ヲキクトイヘ用心ニ味ハ
ヒ身ニ体スルヲセズ道ニテキキ 道トハ即赤ソノ道ニテカタルガ如ク凡ソキク
処ヲ只人ニトキキカスバカリニトル人アリソノ徳ハ得ナリコレヲ心ニ得テワカ物トナルヲ云
善ヲキクアアルハ即チコレ得テアルノ機會ナリ然ルヲ只キハレテ即トキ出スハコレニ

サニ得トシ又ニツカラコレヲスルナリヨリテコレハ徳ヲスツト云ナリ○荀子ガ云ク君子
ノ学ハ耳ニ入テ心ニ著ス小人ノ学ハ耳ニ入テ口ニ出ツ口耳ノ間ハ四寸ナラクニナシテ以
テ七尺ノ軀ヲ美ク子曰鄙夫可與事君也與哉 鄙夫ハイヤレキヲトナリ行
スルニ足ラシヤ

云鄙夫コレト共ニ心ヲアハセテ君ニツカヘラ 其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

其未得之也患得之 コレヨリソノ共ニツ
クニヤ決テ共ニツカヘラレサレモノトナリ

トク得ルハ富貴ヲウラフ云患得之上コレヲ 既得之患失之

コレヲ失ハシテ 苟患失之無所不至矣

父ト君トヲ弑スルヲモハカラスコレヲナスコレ至ラステ云

緊三ツアリ道徳ニ志スモノハ功名ヲ以テク

夫ナリ 子曰古者民有三疾今也或是之亡也

カハリアルヲ論ス凡ソ疾ハ氣血ノ平カナラザルヲ云

利スル心ヲカキ故ニ世ト共ニテ変テ邪惡トナル故ニ只コレヲ疾ト云フ

古之狂也肆 狂トハ志ニ願フ処甚高キヲ云コレ知ノズキタル疾ノ名

今之狂也蕩 蕩トハ肆ナルガ自私自利ニヨリテ

古之矜也廉 矜トハ己ヲタモチ守ルルキヒ

今之矜也忿 忿ハイカリ疾ハモトルナリ人ノ

兼ラ見テハコレニ戻リ只人ニミサ

古之愚也直 愚ハ知ノ不及ニヨリテ理非ニク

今之愚也詐而已矣 詐トハ非ニクテ私利ヲ

子曰惡紫之奪朱也 此ト下ノ句トハ未ノ利トニク

紫ハ間色ヲイハシ朱ハ正色ト貴ク又盛美ナリトイ

惡鄭聲之亂雅樂也 鄭聲ノ義前ニ見タリ雅樂トハ雅ハ正ナリ古ノ正樂ヲ

子曰惡利口之覆邦家者 利口ハクチトキゾ辨口ノス

子曰予欲無言 聖

子曰予欲無言 聖

子曰予欲無言 聖

子曰予欲無言 聖

子曰予欲無言 聖

子曰予欲無言 聖

子曰予欲無言 聖

子曰予欲無言 聖

子曰予欲無言 聖

子曰予欲無言 聖

子貢曰子如不言則小子何述焉言フトハ教ヲ以テ云述ルトハ學ヲ以テ云子貢ハ言語ヲ以テ聖人ヲ見ルモ

ナリヨリテ夫子ノ言ヲウタカヒテコレヲ問フ蓋シソノ言語ノ子曰天何言哉四

時行焉百物生焉天何言哉天何ヲカ云フヤモノ云フナケレモソノ四時ノメ

コノ道理淺見流行ノ實ニアラスト云フノナキコトヲツカサキラケレ聖人ノ一動一

静モノノ妙道精義ノ發スル処ニアラスト云フナレソレ亦天ナラクノ豈云フコトナク

アラハレヤ再ヒ天何ヲカ云ヤトノ玉フハ深ク子貢ヲサントナリ然ルニ子貢領會

シタルコトナケレバナラコレヲサトラサルナラシモコレイタ性ト天道トヲキカサルノ前キ

ニアルカ○此ノ章前篇ニ吾ナシニ隱スナレト云章ト互ニ相發明ス前章ニアラハ

ハ言フコトナカランノ故ヲ見ルコトナレ此ノ章ニアラハ隱スナキノ實ヲ見ルコトナレ

孺悲欲見孔子孺悲ハ魯人哀公コレヲソノ喪ヲ孔子ニ學ハ

孺悲ヨリ時ニ必罪ヲ夫子ニウレコトナラシ孔子辭以疾

命ヲオコナフモノ夫子ノ言ヲウケテ孺悲ニツタヘント室ノ戸ヲ出ル時ニ夫子悲ヲトリ歌

ニシヒキテ孺悲ニキカレメコレヲワガ辞スルコト實ハ疾ニアラサルコトヲ知テ自ソノ罪ヲ思

ハシムコトコレヲ絶ツ内ニライテナラコレヲ教ルコトヲスレ即チ孟子ノ宰我問二年之

喪期已久矣三年ノ喪ハ父母ノ喪ナリ期八年ヒトメクコト云宰我ヲモヘラク三年ノ喪

ナリトコレ心ニ安セサル処アルニ君子三年不為禮禮必壞

ヨリテ夫子ニウタカヒトヘリ三年不為樂樂必崩

君子ハ礼樂ステニシラクモ身ヲサラス然ルニ三上ニ同

年喪ニ居テ礼ヲ講スハ礼必キレテステラント三年不為樂樂必崩

レ此ニ段ハ人事ヲ言舊穀既没新穀既升

出來鑽燧改火

ノ氣ヲ達スルニヨリテ火災ヲチサス人コレヲ食フ一年六期可已矣

時火ニチカハリテ又モトノ木ノ欠ニカレル此ノ二段ハ天時ヲ言期可已矣

ノ喪ヲ期ニシヤシムコト宜ナリトコレ宰我上文ヲステハ心ヲイヒ出セリ○凡ソ景氣

時物ノウツリカレニシレテ孝子ハ親ヲシタス一入切ナルニ宰我ハコレヲ以テ喪ヲ除ク

キ時節トスルハ甚本意ニシテ尹氏ヲモヘラク喪ヲミギカクセント云フ下愚スラチテ

イハカレ処ナリ宰我聖門ニ學ビナカラコレヲ以テトフ諸弟子イサカ心ニ疑フコトアルハ

自是トモス必スウチアラハ子曰食夫稻衣夫錦於女安乎

思得之曰安 宰我夫子之澁澁ヲ察セズナラ 女安則爲之 女安則爲之 女安則爲之

不安故不爲也 不爲上公昔キヲ食ヒ樂ヲ聞キ居ヲ安ニスルヲセストソコ成語ヲ

爲之 君子必コレヲ安シセズ今汝安シセハ則コレヲ 宰我出 宰我ステニセ

曰予之不仁也 宰我カサ子テウチヲタヘナクソ出テケルユニ三夫子カレモレニコトニ安

喪天下之通喪也 凡喪ハ期ヨリ以下天子ハタツ諸侯ハソグタ父母ノ喪ハ貴賤ト

予也 有三年之愛於其父母乎 予モ亦三年ノ恩愛ヲノク父母

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

三年然後免於父母之懷 此ヨリ親ノ喪必 三年スルノ故ヲトク 夫三年之

アラ 君子有勇而無義為亂此ノ君子ハ位ヲ以テ云君子勇アレ義ナケレバ

小人有勇而無義為盜小人モ位ヲ以テ云小人勇アレ義ナケレハソノカヲタノ

亦有惡乎君子トハ暗ニ孔子ヲサレテ云君子ハ仁ニア愛セスト云コナレ疑

惡君子ハ好惡公ナルヨリテ理ノサニ 惡稱人之惡者君子ハ善ヲアケテ惡ヲ

惡居下流而訕上者下流ハ下位ト同シ

惡勇而無禮者勇ヲ好テ無礼ナル

惡果敢而窒者果敢トハ事ヲ決斷スルニハカルコナキヲ云コレ亦剛勇ノ徳ナリ

曰賜也亦有惡乎夫子子貢ガ

惡微以為知者此レヨリ子貢ノコトヘナリ事ヲ

惡不孫以為勇者孫ハレタガフナリ傲憍ニ不孫順ナラズ

惡不孫以為勇者自ラコレヲ以テ勇アリトスルゾ

直者許クトハ人ノカクシタル私ヲセメアラハスコトヲ云コレヲ以テ正直ナリトスルソ上ノ四ツハ

賢賢ニシテ又タノ、兩様アカレルナリ優劣アルヲ云ス。尹氏ノ云ク 子曰唯女子與小

人為難養也女子ハ婢妾ヲサス小人ハ奴僕ヲサス養フトハ處置待遇スルニツキテ云

近之則不孫コレハ輕賤ナリトイヘ反テタ、コレノミ養ヒカタクモノナリトツ

遠之則怨上ヲウラム此ノ二句コレノ養ヒ

子曰年四十而見惡焉カタク故ナリ蓋シ婢僕モ必ス家内ニアルモノナレハ、サニ忽略セスコレヲ養フ道ヲ思フベシト

其終也已人ノ血氣三十二歳ナリ四十歳定ムルコノ故ニ四十歳盛徳ノ時トスコレヲ

過過チノイミタ改メサルモノ亦ツイニ改ムルニ及ハズナリ人ニ惡クシル、コトアレバ人品コトニラハ

聖人カコク、レク人ヲタ、ス況ニヤ晩年ニ道ニスムモノヲヤ

微子第十八此ノ篇多ク聖賢ノ

微子去之微國ノ名子ハ爵名ハ微子トシ、庶長子ヲ付カ兄ナリ、紂無道ニシ

微子去之殷ホロヒントス箕子此ヲソノ元子ナルヲ以テ微子ヲス、メノカレ去テ祖

宗ノ祭リヲ存セシム微子スナチ荒野ニカル武王紂ニ至リテ周ニ歸ス武王
殷ノ餘民ヲ以テ紂カ子武庚ヲ封ス成王ノ時武庚ソムキケルニヨリテコレヲ誅シ微子ヲ
宋公ニ封シ箕子爲之奴箕子モ國ノ名子ハ爵紂カ臣ノ親ナリ紂ヲイサスルハ
殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

比干諫而死比干モ紂カ伯叔ノ親ナリ紂ヲイサメケルハ則コトシケリ孔子曰殷有二仁焉殷ノ後トス

夕中庸ニカナハサル「楚狂接輿」楚人ヲツクリカクレ居テツカヘヌナリ

歌而過孔子テ孔子ヲ過リテ歌ヲ以テ諷レテ夫子ノ車ノニヘテヨキリユキケルト

曰「鳳兮鳳兮」今ノ字ハ歌ノヒキゴヘナリ夫子ノ何徳之衰徳

下道アル時ニテハ道ナキ時ニカクル今無道ノ世ニカクレサルハ何ソノ徳ノ衰ハタルトカクノ如キソトコレ夫子ノカクレ玉ヌヲラレリ往者不可諫

往者トハステニススキタルト云アリテス來者猶可追來者トハイマダ至ラザル

ハナラ追ヒツキテヒキトメラルヘント云ハナレハナカクルトハ今モナルヘントナリ已而已而今之從政者殆而又鳳ニ

マレトマレ今ノ世ニ仕テ政ニ從フ者ハアヤウキブト此四句ハコレ夫子ニハマク仕官ノ志ヲヤメテカクレラヨトスムルナリ○接輿夫子ヲ鳳ニナクテ又フノ徳ノ衰ハタル

カナレミコレ諷ノカクレシメテ又其禍ノ及ハシヲオブル孔子下欲與之孔子

蓋レ夫子ヲツトブヲ知レヒイニタ其志ヲレハナリ孔子下欲與之孔子

車ヨリヲリコレト共ニ物イヒテ趨而辟之不得與之言接輿ワカ思フ処ヲ

出外ノ義ヲツゲントレ玉フナリ趨而辟之不得與之言接輿ワカ思フ処ヲ

夫子ノ言ヲキカミク欲セサル故ニワシワサリケリヨリテ共ニ物云ヲ得テス○接輿タニ世ヲサクルノ心アルノミニニ世ヲスクフノ志ナシタニ堅ク守ルノ操アルノミニテ變ニ通スルノ学ナレコレク長沮桀溺耦而耕此ノ二人モ楚ノ隱者ナリ

聖人ト同ジカラサル処ナリ長沮桀溺耦而耕耦而耕ストハ兩人各耒耜

ヲトリ相ナラヒテ土ヲスキカヘスナリ孔子過之時ニ夫子楚ヨリ蔡ニカヘリテカノ二人使子路

問津津トハ川ノワタ長沮曰夫執輿者爲誰此ヨリ下ハ兩人夫子ノ世ニ

メタリ道ヲ行ハントノ隱レ玉ハサルト云フンレハ詞ナリ執輿トハ馬ノツツヲトリテ車ニ上ヘニ居ルヲ云蓋レハシメテ路車ヲ御メツツヲトリケルガリテワタリヲトヒケル故ニ夫子

レハラシコレニカハリ玉フナリ蓋長沮車ニアル孔子ト知リナ子路曰爲孔丘子路

カヲ實ヲトリテ後ニサレハシトメツツノ誰タルト云フ子路曰爲孔丘子路

曰是魯孔丘與又ソノ本國ヲ曰是也イハレト曰是知津矣云ハ魯

ハレハクメタリアリク人ナルホトニ自コノ問於桀溺長沮ワタリヲツケサルニヨリテ

川ノワタリラレラントテコレラツゲス問於桀溺子路又コレラ桀溺ニトフ桀

溺曰子爲誰子路ヲタ曰爲仲由子路ニツ曰是魯孔丘之徒與子

ノ門徒ナルトト對曰然トフ曰滔滔者天下皆是也滔滔トハ水ノ

思テコレヲトフ對曰然トフ曰滔滔者天下皆是也滔滔トハ水ノ

サル義ナリ云心ハ今天下諸國ニ乱ニラモムキ諸而誰以易之然ルニイツクハユ

人ニナ悪ニラモムキテタチカヘラサルトキナリトフ而誰以易之然ルニイツクハユ

ト共ニコノ乱世ヲ變易メ且而與其從辟人之士也豈若從辟世之

士哉且トハ轉語ノ詞ステニ夫子ヲソレリヲハリテ又轉ノ子路ヲソレリナリ辟人トハ

人ニアハズノ反ル時ニ夫子ノ玉ヘルトノ又不仕無義人カクレタルノミニニイテツカヘ

古注ニハ丈人ノ二子ニイヒラケルトナリ長幼之節不可廢也君臣之義如之何其廢之

路ヲ長者トシテノ二子ヲ一ニシメツレバ長幼ノ節ステラサルトハ知欲潔其身而亂大

倫倫モ序ナリ人倫ノ大目五ツアリ即父子親アリ君臣義アリ夫婦別アリ長幼序アリ

身ヲイサキヨクセントノ君臣ノ大倫ヲ乱ルナリ君子之仕也行其義也

故ニ君臣ノイデツカフルハコノ道之不行已知之矣又上ノ句ノ心ヲ足シテ云フノ

君臣ノ義ヲ行ハントイフナリ世ノ道ノ行ハスノアルコト

デニ知ルコトナリトイヘルソノ義ヲ行ハタニ周流ノ君臣ノ一遇ヲ求ルトナリモレ遇フ処ノ

君ヲ得玉フ時ハ道ノ世ニ行ハルコト必然ナリ凡ソ義ハ己ノ心ヨリ事理ノ宜キ処ヲハカリ

サダムルコトナレバコレヲ義ト云時ハ君臣ノ分義モ事理ノ宜キ処モ利ニ對スルノ義モ三ナ

相通ズコノ故ニ君臣ノ義ヲオモシスルカタニ仕ルトイヘルソノ事ノ可否身ノ去就モ亦三ナ

ソノ宜キ処ヲツヒラカニツモアカラサニセズヨリテ身ヲイサキヨクシテ倫ヲニタラストイ

厄亦義ヲワスレテ利祿ニシテガフコトセザルナリ○范氏ヲモヘラク隱者ハ高キコト好

ムコノ故ニユイテカヘラス仕ルモノハ達セシコト求ムコノ故ニヨホレテトニラスヨリテ鳥獸ト羣ラ

同ノスルニアラサレバ則テ正理ヲコエテ富貴ヲムサホルタゞ聖人ノ三君臣ノ義ヲスアスレテ

又必スソノ正レキヲ以テスコノ故ニ或ハイデ或ハカケレテツイニ道ヲハナルノ時ナレバ黃氏ヲモ

ヘラク接輿以下ノ四子タスニ聖人ノ中道ヲ以テスレバ病ナキニアラス然レバノ言ヲアザ

ハヒツラフルミヒラ見テ以テ其人トナリヲ思ヒレハ清風高節今ナラヌウマニヒレタハレム

カレ聖人ニイテモナラ心ニミタサル処アルコトカクノ如クナレバ則テ世ノ利祿ヲムサホリタシナメル

コトヲ知ラサル者ヲ視ルコト犬馬ノ如クナルノミニアラフコト豈ヤカニ賢ヲ特立スル者ニアラサ

ラシヤカツテラモヘラク四子が如キモノタゞ夫子ニノ然レ後ニソノ中道ニアハサル処アルコトヲ議ス

ベシモレ祿ヲムサホリ利ヲタシテ徒四子ヲ借リコレヲソリテ以テソノ仕ヘズハ

アルジキ義ヲ見ミク欲セハコレニサニツカラソノ量ヲ知ラサルモノチフクノミ

叔齊虞仲夷逸朱張柳下惠少連逸トハトクノコシタル義ナリ民トハ位ナキノ

ハ即チ泰伯ノ弟仲雍ナリ夷逸朱張ハ經傳ニ見エス少連ハ東夷ノ人ナリ礼記ニ出タリ七

人ノ才徳モト大ニ世ニ行ハルヘク或ハツイニ用ヒラレス或ハ又スコシキ用ヒラル厄アラハニスルヲ

以テスヘテ逸民ニ歸スニテ世ニトリノコサレタル賢者ナリ記者夫子ノ子曰不降其

志不辱其身伯夷叔齊與志トハ立心ヲ以テ云身トハ制行ヲ以テ云夷齊ハ汚

身ト志トラスコレモクダレハツカレル処ナレコレ逸民ノ上ナリ云心ハ古來ノ逸民ニ其志

柳下惠少連降志辱身矣

謂トハ評論ノ詞ナリ此ノ兩人ハ光ヲヤハラゲ俗ニ

言中倫行中慮

倫ハツイテナリ慮ハ思ヒナリ志ヲクダレ身ヲハツカレムル

其斯而已矣

其トハ兩人ヲサス云心ハソノ人ニトル処コレ

謂虞仲夷逸此兩人ハ必世ヲノカルヘキ思ハクアル故ニ隱レ居テ仕ヘ 隱居放言スノ物云フホシイマニソ自ラスタリモノトナレリ

身中清廢中權隱居放言ストイハレソノカクレラルヘトリ善クスルノ清節ニカナヒラ 我則異於是無可無不可可不可トハ必カクセン必カクセシトカ子テ思

聖人ノ心ハ虛明圓活ヲ事ノ可不可ヲ時ニシタカヒテハカリサダムヨリテニナソノ節ヲ

コノ故ニ子血子ノ云ク孔子ハ以テ仕フキトキハ則ツカ以テ止ムキ時ハ則ヤミ以テ久レカ

ルキ時ハ則久ク以テ速ナルキ時ハ則速ナリ又云ク孔子ハ聖ノ時ナルモノナリトガサレハ

コレタ諸子ヲ評シ玉ヘルツイテニソ身ノ上ニ及ヘリコレヲ以テ諸子ノ中道ニカナガサレタ

夷叔齊ハ天子モ臣トスルコトヲ得スステニ世ヲノカレ君ヲハナル

此レノ最モ高キカ下惠火連ハ志ヲダストイハレバレラマケズ身ヲハツカレトイハレ世ニア

ハシトテ求メズコノ故ニ言ヨク倫ニアタリ行ヨク慮ニタタル虞仲夷逸ハ隱居メ放言ス

ノ義ヲソコナヒ教ヲヤリテ大倫ヲミダシムトシテラコトニスコヲ以テヒトシクコレヲ逸民ト

云尹氏ノ云ク七人ハラノノ節ヲ守ル而シテ孔子ハ則可モテク不可モナレト云常ニ其ノ可ニチ

ヒテ逸民ノ徒ニヨ 大師摯適齊此章ハ魯ノ樂人國ヲトロヘタル故ニ他境ヘノカレ去ル

即師摯ナリ摯ハ賢師ニマソ去ルヲ始ニシルニシテハ 亞飯干適楚 三飯繚適

下ノ數人ハミナコレヨリテサリツルト見ヘタリ 亞飯干適楚 三飯繚適

蔡四飯缺適秦右ハ人君食スルコトニ樂ヲ奏ス亞飯ハ次飯ナリ飯ハ食スルヲ云亞

ノ名トス干繚缺ハ樂人ノ名ナリ按スルニ天子ハ平且食晝食晡暮食スヘテ四飯諸侯

ハ三飯大夫再飯ナレハ魯ノ四飯ハ禮ナリ又夏殷ニ六日コトノ食ニ樂ヲ奏ス周ニ八朔望ハ

カリニ奏ストイリコニ初飯ノ入ヲイサレテ或ハ大師コレ

ヲツカサトリ或ハ時テ人ナク或去ラスノ居ケルナラン 鼓方叔入于河 鼓方叔

叔其多リ河ハ河内ノ地ナリ適トハコトヲ去テカレシコニテ地ヲサ 播鼗武入于漢

ルノ心ニ似タリ入トハ深ク入テカレラス世ヲ去ルノ心ニ似タリ 播鼗武入于漢

コカス義ナリ鼗ハフリスニ鼗ヲフル 以師陽擊磬襄入于海 以師陽擊磬襄入于海

樂人名ハ武ナリ漢ハ漢中ナリ 以師陽擊磬襄入于海 以師陽擊磬襄入于海

樂人陽襄ハ二人ノ名襄ハ夫子ノ琴ヲマナヘルモノナリ海トハ海中ノ島ヲ云○此章ハ賢者ノ

隱遁ヲ記ノ前章ニ付ク張子ヲモヘラク周ヲトロテ樂スタル夫子衛ヨリ魯ニ及テテタヒカ

ツテコレヲ治ムク後伶人賤工モ樂人正キコトヲ知ル魯ニスクフトラルニ及テテ三桓礼樂ヲモチ

ヒサルコノ故ニ大師ヨリ以下ニテ散ノ四方ニキ河ヲヨシ海ヲワタリテ乱ヲサク聖人俄爾ノ

助ケ其ノ功化カクノ如シモシ我ヲ用ルモノ 周公謂魯公 魯公ハ周公ノ子伯禽ナリ

アラハ期月ニ可ナラント云豈虚語ナランヤ 周公謂魯公 周公ハ王朝ニ留リテ

タリ伯禽ハ魯日 曰君子不施其親 施ハ地ニ作ルヘシ親ハ九族ノ親ルイラ 不使大

臣怨乎不以 大臣モシ其ノ人ニアラスバコレヲスツヘシスデニソノ位ニカバ政ヲ 故舊

無大故則不棄也 故舊ハフルキナリ久キ朋友並ニ舊功ノ人ヲ云大故ハ 無求備

大イナル事ナリ惡逆ニアラサレハステサルナリ 無求備

於一人三人ヲ使フニ各ソノ長スル処ヲトリテ一人ニソナハランヲセメズ四ツノモノハ三君子

周公ノ戒訓レ玉ヘル詞魯人トナヘツタヘテ久シキ後ニテモワ 周有八士或人云ク成

ナリト或人云ク 伯達伯适仲突仲忽叔夜叔夏季隨季駒コレ毎四

ゴラウニテ子ニテ賢士ナリ周ノ成盛ナリシ時氣運ニ應ノ賢人多クイデカクノ如クノ異

周ノ盛ナリシトキノヲ衰ヘタル事ノ後ニルルハ今ヲイタミテ古ヲ思フノ心アリ又朱子

濁丈人ニライテハ又ツ子ニ倦タトシタスゲヒク心アリニテ衰世ノ志ナリソノ感スル処ノ

數君子者モ亦ニテ一世ノ高士ナリモシ聖人ノ道ヲキクヲ得テ以テソノスキタ

子張第十九論語ノ書孔子並ニ諸弟子ノ語ヲミシヘ記ス而メソノ終リニ

ス蓋シソノ學識ミナ孔子ノ道ヲ明カニスルニタレルヲ以テナリ申ニモ子夏子貢ノ言ヲ

ホキハ又孔門顔子ヨリ以下穎悟ナルヲ子貢ニシテハナク曾子ヨリ以下篤實ナル

子張曰士見危致命致ストハラクリアタフル義ナリ君ノ危難ヲ見 見得思義

凡ソ得ルアレハ義不義ヲツ 祭思敬祭リニハ敬ラ主 喪思哀喪ニハ哀レミ

其可已矣其レトハ士ヲサレテ云忠以テ死生ヲワスレ義以テ得失ヲ弁タメ礼以テ喪

ルアレバ士ト稱スルニタラスコノ故ニヨクカクノ 子張曰執德不弘心ニ得ル処アレ

スノレヲ守ルハ甚セキ時ハ 信道不篤ヲ信スルコトイタ篤カラサル時ハソノ道ニ

焉能為有焉能為亡云心ハ上ニ云如ク人ハアリテナンゾヨクヲモリトナラ

レ去リテ正理ヲ守ルアタハサル処アリ徳ヲ守ルハ弘カラスノ信シトルハ甚カキ時ハ只

道ヲ子張曰子夏云何 對曰子夏曰可者與之交ル

トウ子張曰子夏云何 對曰子夏曰可者與之交ル

フバコレニ其不可者拒之 子張曰異乎吾所聞交ルニレキモノヲハフセ

子夏ノ云処ワガキケル 君子尊賢而容衆コレヨリ下ニ句ハ子張キククノ語ヲノ

交道ニコレトナリトソ 君子尊賢而容衆賢トハ成徳ノ人ニコレトニコレヲ尊

亦コレヲウケイレテタツヘカラス 嘉善而矜不能善ハ一長ノトルヘキ処アル

人ヲ云ニコレトニコレヲヨミ

白雲閣 卷四

ノ交ルヘシ不能ハ短キ処アル人ヲカ我之大賢與於人何所不容コレヨリ子張

ヨリテワカ思ハクタク云心ハワレモシ大賢ナラハ賢善又キク外ノ語我之不賢與人將拒我

知之何其拒入也我モシ不賢ナラハ人ヨリ我ヲフセクヘケレワレナンソ人ヲフセク

ナリサレド亦ソノ論スル処高キニスギタルツイエアリ蓋シ大賢ハニトニフセクヘキ人アルニ

ハ亦ニサニトラサカルヘシ学者子夏曰雖小道必有可觀者焉小道上ハ農

爲也小道ヲ以テ遠大ノ事ニ行イ致ス時ハナクサハリテ通セサル処アリコトヲ以テ君子ハ

ノゴトシニナ明ナル処アレ相通スルアタハスト蓋シ君子ノ道ハ事ニ行イテカ子スト云

故ニ遠キニ致セハ必ナクニテ行ハレサル処アリ子夏曰日知其所亡亡トハ

知ラズ能クセザル処ヲ云学者ハムナレクワタル時月無忘其所能能スト云モ知

ヲ真寶ニ學子夏曰博學而篤志學ヲヒロカラサレハソノ要ヲエラヒ得ルコトヲ

切問而近思切ニ問フハソノ志ヲ學ブ処イミタミツカフ信セサルコトアルキハ

仁在其中矣上四ツノモノハ皆コレ知ヲ致スノコトニイミタミツカフ信セサルコトアルキハ

子夏曰百工居肆以成其事百工モトクノ工匠ナリ肆トハ

君子學以致其道此ノ學ノ字ハ知行ヲカ子テ云君子モツ子ニ學ヲ事トシコ

ノ道ニ至ルカカ一説ニ尹氏ヲモエラクソレ學ハ道ヲキハメンカタナリ百工肆ニ居ル

カヲ必務ル処アリテ其ノヲ成ス君子ノ學ニラケルモノノ務メトスル処ヲ知ラサルベ

ケンヤト蓋シ前ノ説子夏ノ本意ナリサレ後ノ説ノ如クニ學者必スソノ志ヲハケマス

コトヲ以テヨク其道ニキハメ至ルナリモレソノ學業ニラコタル片ハ物ニムハレ志アツカフス

ノ道ニ至ルカカ一説ニ尹氏ヲモエラクソレ學ハ道ヲキハメンカタナリ百工肆ニ居ル

カヲ必務ル処アリテ其ノヲ成ス君子ノ學ニラケルモノノ務メトスル処ヲ知ラサルベ

ケンヤト蓋シ前ノ説子夏ノ本意ナリサレ後ノ説ノ如クニ學者必スソノ志ヲハケマス

四書圖考 卷四 三

處アリテ後道ニ小人ハ過ラズ子夏曰小人ノ過也必文小人ハ過ラズカカリテミツ

過アルトラスカスサレハワツカニコレヲ知ルトキハ則スミヤカニコレヲ改ムルニヨリテリノ

過ラトクルトナレテ子夏曰君子有二變君子ニ相見スル時ニ望之儼然儼然ハ

見ナリハシメニトシテ見ルハソノ見ラゴトニ即之也温次ニチカクヨリツク時ハ多ク顔

聽其言也厲厲トハ方正ニシテナクサレサル義ナリ次ニラノ言ヲキクニ至リテハ又方嚴

ル件ハ温ナラ入温ナル件ハ厲シカラスタ、孔子ノニコレヲ全フスト然レハ本文ハ夫子ヲ

相モトラサルナリ良玉ノ温潤ヲ粟然タルカ如シト並ヒ行ハトハ一時ニアルコト云々ト

子夏曰君子信而後勞其民此ノ君子ハ位ニ居テ上ニ君アリ下ニ民アリ

也民ヲ勞スルハモトコレヲ安セシカタメナレハイダ信セラレズコト云々ト未信則以為厲已

信而後諫後ニコレヲイサム未信則以為謗已也君ヲイハ

コレヲ正シクセンガタメナレハイマダ信セラレズイカニハ反子夏曰大德不踰閑

小德出入可也大德小德トハ大節小節ト云カ知レ閑トハ棚ヲヘタテキリテ物ノ

出入ヨクニツク大イナルモノヲタテ、大法ヲコユコトナクバ小節ニツイテハイマダコトク

トイヘハ其ツイエナキニアラス、學者コレヲ詩ニスヘレ○書ニ云ク細行ヲタモタザレバツイ

道理モトカクル処ナク亦タ元間モナレコトヲ以テ君子ノ學ハ戰々兢兢トシテ時トシテ

子夏曰子夏之門人小子當洒掃應對進退則可矣洒掃

進退ノ字義大學ノ序ニ見タリコレ云ハ子夏ノ善クスリ、モトモト

弟子ノ學ノ威儀禮節ニウチタリテスルハヨレトク、柳未也本之則無如之何

柳トハ語ヲカヘス詞ナリ本トハ大學ノ道ヲサス大本ノナル処ナレバナリ云ハ小学ノ事

實ハ子夏ノ上門人ヲクシトイヘハ、子夏聞之曰噫言游過矣噫トハ心

聲、君子之道孰先傳焉孰後倦焉君子ノ道トハヒロク云本末ニテ中ニ

トノ傳フルハカリ、ニテイツレノヲカ後トノウミテ教ヘサラント、譬諸州木區以別

云コ、ロハ只未ハカリヲ教ヘテ本ヲ教ヘサルニハアラストナリ、譬諸州木區以別

四書章句

卷之四

矣 區上八類ノ品アルコトヲ云學者ノ至ル処ニ淺深アルコトヲ

誣ルトハ道理ヲマゲテレイテスルコトナリ云心ハモレ學者ノ至ル処ノ淺深工夫ヲ用ルノ

道ナラカクノ 有始有卒者其惟聖人乎 始トスル未モアリ終リトスル本モアリ

只聖人ニテナクバアルヘケレ豈コレヲ以テ門人小子等ニセメフコトナラシムヤト○程子ノ云々君子

者ヲ以テス先ツ傳ルニ近小ヲ以テテ後ニ教ルニ遠大ヲ以テセサルニアラフナリ朱子ノ

カヒテ盡クサガハアルベカラス又云ク只ツノ理ノ一致ナルコトヲ以テツノ教カクベカラスツノ

必ス本末先後アリコト故ニ又ツノ序ニテラレヌナリ 子夏曰仕而優則學 餘カアル

イマダ仕ヘサルモハツノ學カユタカニテ時ニホドコトスベキ時ニ至リテハジメテ仕レレ

但學ハ仕ヘノ本ニ仕ヘハ學ノ用ナリコト故ニ仕テ又學フ時ハツノ仕ヘヲタスル処ニ

ハ學ニ重シ云心仕テユタカナル時ハ又必スニテフベシカ論ツノ學ユタ

カナル時ニ始テ出テ仕フベシ君子ハ始終タシ學以テ字トスルナリ 子游曰喪致乎

哀而止 喪ハツノカナレミヲキハムルニ三ノ礼文ヲタツトスモコレ喪ハツノラサミヲヨリハ寧イタ

スキテ細微ヲ簡畧スルノツイエアリ學者コレヲ詳ニスヘシ蓋シ子游ノ心モツノカニ喪ヲトル

子游曰吾友張也為難能也 子張ノ行迹高キニスキテ人ノヨクレカカキコトヲヨク

然而未仁 外ラツトハテ高キコトヲヨクムヨリテ内ニ誠實ノ心ヌクク多ク惻怛ノ情

理ナリコト故ニ中ニ眞實無偽ニツク徳全キ 曾子曰堂堂乎張也 堂々トハ容

見ツキヲ云サレド亦ホタル詞ニ似テ實ハツノ外ラツト 難與並為仁 朋友ハ仁ヲ相

厄子張ハコレト共ニ多チナラビ相タスケテ仁ヲスルコトナリカダレトコレワレカレラタスクラレ

大詢ハ仁ニ近シト寧外タス内タリテ子ガタハ以テ仁ラシ

夫子ニツノ聞ク処ノ言下ノ文人未有自致者也 自致トハ人レイサレレクト自ツノ

云コレ云心ハ世ノ人平生ノ事ニライテハ 必也親喪乎 三三テアラカト蓋シコレ事理人情

ノ自ヤムコトヲサハサレ事ヲアケテ人ノ手タルモノ、良心ヲ感動シ玉ヘルナリ必人ノ自致ルコト

テツノ致メサルタメナレト玉フニアラス○尹氏ノ云ク親ノ喪ハニトニ自盡ス処ナリコレ

三十九

三十九

三ノイテ其誠ヲ用ヒスハイツクシカ其誠ヲ用ヒント 曾子曰吾聞諸夫子孟子

子之孝也其他可能也 孟子子之孝也其他可能也 孟子子之孝也其他可能也

改父之臣與父之政是難能也 父之臣與父之政是難能也 父之臣與父之政是難能也

稱スヘキコアリトイヘ氏ニテ此ノノカタレトスルニレカストフ蓋シ賢子賢徳アリク臣ト政ト

使陽膚爲士師 孟氏孟孫氏陽膚曾子ノ弟子士師ハウツタラキ、問於曾子

陽膚ノノ職ヲオサ 曾子曰上失其道民散久矣 今ノ時上失其道民散久矣

民ニ道義ヲ教ルコトモナキニヨリテ人情事義ヲムキナレテ互ニ相ヨリタノム

則哀矜而勿喜 散久キニヨリテ罪ヲオカスモノヤムヲ得ザルニセシムルカニ

トコレ理勢カノ必カクノ如クナルヲ以テ下ノ文ニ云ク人ヲサトサタメニ

下流 下流トハ下ニキナリ地形ノヒキクメ四方ノ水流シテ凡ル処ニ至ル

如クナル故ニ君子ハ下 天下ノ之惡皆歸焉 下流ニアルコトニ歸スルガ故ナリト歸ハ

月之食焉 下ノ文ニテ 過也人皆見之 君子モタニ過アルコトヲ見テ

人ニテコレヲミテツノ心 更也人皆仰之 更トハフタヒアタラシクナリ義ヲ仰ク

問於子貢曰仲尼焉學 公孫朝ハ衛ノ大夫ナリ夫子ノ博學多聞ナル

曰文武之道未墜於地在人 文武ノ道トハ文王武王ノ懿範ト稱シトノ世ニツ

Various smaller annotations and characters in the left margin, including '子貢' and '衛公孫朝'.

トフ処アサキ故ニ子貢モ亦コノ類ヲ以テコトヘト云心ハ其ノ道 賢者識其大者識

道ノ大イナレモノナリ 不賢者識其小者賢者識其大者 莫不有文武之道

焉大賢小賢 夫子焉不學上ニ云フ如クナレハ夫子イツクヲ學

而亦何常師之有カクノ如クニ亦ナシノサダマリ 叔孫武叔語大夫

於朝武叔魯ノ大夫叔孫氏名州仇武公諡叔 曰子貢賢於仲尼子貢カオ識

子服景伯以告子貢景伯朝ニテキ、云フ 子貢曰

譬之宮牆宮牆トハ宮室ノ外ヲトリハシタツイデラ云ニ 賜之牆也及肩此

窺見室家之好子貢宮牆ノタトヘテ以テ自ソノオ識ノアサキセハタシ見ヤスキヲ

不得其門而入蓋シ其

夫子之牆數仞此ヨリ又夫

不見宗廟之美百官之富富トハサカシナル義ナリツノ牆高キ

得其門者或寡矣世ニ其門ヲ得

夫子之云不亦宜乎此ノ夫子ハ武叔ヲサレテ云コレ云心ハ武叔モフノ門

叔孫武叔毀仲尼武叔ナラ夫子ヲクヒリテヤニス 子貢曰無以

為也仲尼ハトカクツ 他人之賢者丘陵也

猶可踰也丘陵ハニテヲカチリ 高キヲ陵ト云コレ云心ハ仲尼ノクシレサレトイカチレ他人

仲尼日月也無得而踰焉仲尼ハ日月ノ如シツノ高キトカキリ 人雖

欲自絶其何傷於日月乎仲尼ヲツレモ多見バ自ツツツリヲ以テ聖人ト表

多見其不知量也サレクツノ人ノ自ワガ分量ヲ知ラザルコ

陳子禽謂子貢曰子為恭也仲尼豈賢於子乎子禽子

子貢曰君子一言以為

知一言以為不知言不可不慎也子貢子禽力來言ヲ責テ云ク君子

知一言以為不知言不可不慎也道一言得タトキハコレヲ以テ智者ト

一言ヲヤル時ハコレヲ以テ不智者トス 夫子之不可及也猶天之不可階而

升也 此ヨリ夫子ノ徳常人ノ甚及ハレサルヲ云階トハホリハレナリ凡ソ人ノ徳善信

美大ノ四段ニテハチテ夫ヲ以テ至ルヘシソノ他ノ聖トナルハ則懸絶九ノ及フ処ニテ

スヨリテ云夫子ノ聖徳高妙ヲ及ハレサルハナラ夫ノ梯 夫子之得邦家者 此ヨリ

及ハレサル内ニツイテ詞ヲウケテ夫子ノ位ヲ得テ国家ヲオサス 所謂立之斯立

古語ヲ引テ云ナルヘシ之ノ字ハ人ヲサス下ニテ同シコレヲ立ツトハ田宅ヲサツケヤレナイ

テクノ身ヲ立ルナリ斯立トウノ効スニヤカニレテ皆立ツヲ得ルナリ下ノ句義コレ同

道之斯行 道之小人教ルナリ 斯行フヤスレバ 綏之斯來 綏トハ立ルノ堅キツ來ルト遠

動之斯和 動トハ鼓舞ノ義教ルノ深キナリ和 其生也榮 君イケルトキ即

三テ各ソノ身ノ 其死也哀 上ハ聖徳ノ神化天地ノ化育ト其タクヒラ同クスルモノ

ナリ如之何其可及也 コレ上文ラスヘムスフ詞ナリ○謝氏ヲモヘラク此ノ童子貢

ツルヲ見ルタリイハユル夫子ノ邦家ヲ得ル時ノ効アルカケヒキヨリモスニヤカナリ人ツノ

堯曰第二十

堯曰咨爾舜 此ノ章ハ記者レラス処コレハ帝堯位ヲ舜ニツリ玉フ時ニ命セラレシ

後ニツテ 天之曆數在爾躬 天ノ曆數トハ帝王位ヲツク次第ヲ云ソレ帝王ハ

子ニアタヘ或ハ賢ニツルコト必ス一人ヨリ一人ニシタル天命アリテマサレテ曆數ニ歲時節氣

ノツイテアルガ如シコト故ニ古來天ノ曆數ヲ以テソノ各目トスルナリ堯ハ子ニアタヘ賢ニ

ユルコレ舜ノ身ノ必天位ヲツクフキ処ト見 允執其中 天命ニアタリ天下ニ君タル人

サタメ玉フ故ニコレニツクルコトカクノ如シ 允執其中 一ナルハ眞實ニテノ過不及ナキ

中道ヲトリ行ヒテ 四海困窮 四海四方ノ海ノ内ナリ天下ヲ云困ハクルニ窮ハ

苦窮迫ス 天祿永終 天祿トハ天子ノ尊高富都ヲサスコレ天ヨリ命セラレ祿ナ

ルコトアラハト 舜亦以命禹 舜後ニ位ヲ禹ニツリ玉フ時ニモ亦堯ノ命セラレタル

クダエントコレ 舜亦以命禹 舜後ニ位ヲ禹ニツリ玉フ時ニモ亦堯ノ命セラレタル

戒ノ詞ナリ 予小子履 履ハ蓋シ湯ノ各ナリコレニツハルヲウタシトメ命ヲ

トアル 予小子履 履ハ蓋シ湯ノ各ナリコレニツハルヲウタシトメ命ヲ

モナリ夏ニ黒色ヲタツトヒテ祭ノ牲ニシテキヲ用フ湯此ノ時 敢昭告于皇皇后

天ニツケ玉フテ牲ニモナラ夏ノ私ニヨリテイマタ変セズ

敢昭告于皇皇后

帝皇天大々ナリ后八君ナリ有罪不敢赦今桀罪アレハハレ帝臣不蔽天下ノ賢人ハ

三ナ上帝ノ臣ニ共ニ国家ヲ治ルモノシ簡在帝心凡ノ人ノ善ト不善トステニエラヒワ

スルヲタテテカガハレトナリ朕躬有罪無以萬方此ヨリ下ニサニ諸侯ニツクルノ詞

時カ多ク如ク天命ヲウケテ今天下ノ君トシテ八天下ノ責ミテワレ一人ニアリ然レハ身ニ罪

アルハコレ民ノ致ス処ニアラスマコトニワヒトリシノ罪アタルヘシ天下萬方ノ人ヲ以テコレテ

ツカラレシム萬方有罪罪有朕躬萬方ノ人罪アルハコレガ政教ノアヤミル処ナレ

致スヘトコレバ責ルテ周有大賚善人是富此レヨリ際周ノ武王ニツキテ

武王紂ヲウチテ則ツノ財ヲ天下ノ民ニ散シ德アリカアルモニ祿位ヲアタヘ玉フコレヲ大イニ

ノ詞周親トハ至リテ雖有周親不如仁人此ハ六泰

ノ詞周親トハ至リテ百姓有過在予一人本文出処上ニ同シコレ亦天下ヲ以テ謹權量

紂力時私スルヲ多カリ故ニツ審法度法度ハ礼楽制度ナリコレヲ審ニストハ難

修廢官廢官ハスタタル官職アリ或ハ官アリテ人ヲカキ或ハ四方之政行焉

上ニツクテフサカレリレヨリ四方ニシテ政ヨク興滅國國ヲウケヒタル君アリ再

世則黃帝堯舜禹湯ノ後ヲ封スコレコノ二句ノナリ舉逸民逸民ノ守

復シテモトノ位ニシテクノレナリ商容ノ商賢ナリ天下之民歸心焉上ニ

死ヲ送ル祭ハ以テ本ニムクヒ遠キヲ追フニテ天下ノ急寬則得衆此ヨリ下武王ノ事ニ

帝王ノ道ヲノクルナリ君ユタカニ下テラソニテコレヲソコナクフナキ時ハ諸人ノ歸附

ヲ得テ失ハズ云心ハ凡ノ帝王ノ衆ヲ得ルコト寛テ則コレヲ得タリト下句義ニ同シ信則

民任君ノ號令信ニ民ヲアタムクナケレハ敏則有功政ニトクノラコタルナケ

說賞罰ヲホヤケテ各ソノ實ニアタルハ民心ヨロシクニ服ス○按スルニ此ノ章記者

堯舜禹湯武王ノ事ヲツミトリテ古ノ帝王天下ヲ治マテアラシメラアゲ示シヨリニ

迄ク帝王ノ治ニ通スル道ヲ以テコレヲムスブ歴聖ノ德業ヲ贊美スルニハアラズ揚氏ヲモ

ヘタク論語ノ書ハニテ孔子ノ微詁ニテソノ徒ツタヘ守リテ道ヲ明スルモノナリコノ故ニ

終篇ニツイテ堯舜位ヲユルノ命湯武師ニチカフノ心トカノ政事ニホトコセリトナ

ノセテ凡ノ聖学ノウケツタタル処ソノム子ツナリテ明カセリ孟子ノ終篇ニモ亦堯舜

湯文孔子ノ道統相ウクルノツイテラフニ此ノ心ナリト蓋シ前聖後聖ノ心符節ヲ合セタルカ如シモシ時ヲ得テ上ニアレハ則帝王ノ業トナリ時ヲ得スノ下ニアレバ則太子ノ道トナリ 子張問於孔子曰何如斯可以從政矣 子張曰君尊五美屏四惡

從政トハ大夫ノ政ニ就キテ職ヲツトムルヲ指シテコレ上ノ章 帝主ノ治道ヲウケテ記シタレバ上下ニ通ルベク見ルヘシ 子曰尊五美屏四惡

斯可以從政矣 政ヲスルニ五ツノ美事アリ四ツノ惡事アリヨク五美ヲ尊ヒテ四惡ヲ屏リテ行ハスハ則以テ政ニ從カハレント 子曰尊五美屏四惡

曰何謂五美 子曰君子惠而不費 勞而不怨 泰而不驕 食而欲而

惠ハメグムナリ民ヲ多クモテツクイエ 勞而怨 民ヲツカヒテ勞スレバ民ノ勞ニヤフレスコレ一ツノ美ナリ 泰而不驕 上ニ三居テ安泰ナレバコレ一ツ

不貪 食ルルナレコレ美ノ三ツナリ 泰而不驕 上ニ三居テ安泰ナレバコレ一ツ 威而不猛 多クシテレサレニアラスコレ五ツノ美ナリ 子張曰何謂惠而不

費 子張又五美ノ事實ヲ多クシテ 子曰因民之所利而利之斯不亦惠而

不費乎 凡ノ民ノ業トスル処ノ事上ニミタル人天時ノ本及ニシタガヒ地理ノ宜ヲツキテラカク

如クナレバ人及フ処大ニ上ノ財力ヲ費マス処ナレ 擇可勞而勞之又誰

怨 子張ハシメラノ實ヲトヒ出タス故ニ五ツナカラ知ラスト見テ此レヨリ下ノ餘ヲモア

審ナリ凡ノ民ヲツカヒテ勞セシムルニ皆マムヲ得サルノミナラ 欲仁而得仁又焉

貪 上タル人己ガ立ニテ欲スル心ヲ以テ人ヲタテバ違ヒテ欲スルヲ以テ人ヲ違スルハ天下

民財利ヲ貪ルノ欲アラシ 君子無衆寡無小大無敢慢斯不亦泰而

不驕 君子ハ恭敬ヲ以テ物ニ接ワルノ衆寡トナク事ノ大小トナクツモアヘテアケルコトナ

アラン 君子正其衣冠尊其瞻視儼然人望而畏之斯不亦威而

不猛乎 瞻視ハ目ツカヒテ尊クスルハモクシクスルナリ儼然ハ正レキ兒ナリ君

貌ヲオモクシク儼然タリ故ニ人ノヲ見テラソレウヤフサレドソノ威儀ヲウレト

子張曰何謂四惡 子曰不教而殺謂之虐 不戒視成謂之暴 慢令致期

ハスノ罪ヲオカシタルトキニ刑ヲカラクノコレヲコス 不戒視成謂之暴 戒ムトハ

此惡ヲ名ツケンテ虐ト云虐ハムコクノコナナリ 慢令致期

ケシラスル義ナリカ子テ戒令ナクノ民ヲツカヒ目前ニ事ノ成ルヲ

見ントス此ノ惡ヲ暴ト云暴ハ二ハカニノ漸々ノ次第ナキコト云フ

慢令致期

謂之賊

慢令トハ戒令ヲユルカセシイソカヌブ致期トハツノ事ヲ成ス期ヲカキリテ

成ルヲ急ニ責ルバ民必スセリテエセス猶之與人也出納之文謂之有

司猶之與人也出納トハ物ヲ出シイルナリコニハ出スコトヲイハレ納ルハ詞ニツテ云ナリ有司ハ役令

リコレハ藏奉行ヲ以テ云カハワガアツカリタル物カスラタカヘシ罪ヲソル故ニ物ヲ出

トスルトキハ點檢ヲツヒラカニ出ルコトヲキフ以テ患トセズヨリテ物ヲアタヘントレテ

果サルヲ有司ト云コレ政スルノ体ニアラカクノ如クテバアタル処多シトイハレ人ノ患

ヲモス楚ノ項羽功臣ヲ封セントソノ官府ノ印ヲ鑄サセコトヲアタヘントレハハヤクノ

印ノカドツラニテエアタエズヨリテツイニヤシラトルコレヲノレシナリ○尹氏ノ云ク政ヲ問ニ

答スルト多シイダカク如キノツヒラカナルモノアラスコノユニコレヲ記シテ以テ帝王ノ治ニ

ツク時ハ則夫子ノ子曰不知命無以為君子也命ハ禍福ニツイテ云コレヲ知ル

政スルヲ知ルヘレトハ明コトヲ信スルナリ

凡ノ人命ヲ知ラザル時ハ害ヲ見テ必スサチ命也命ハ禍福ニツイテ云コレヲ知ル

ヘカラス又ヨク命ヲ知ルモノハ人事ヲツクテ後三順ニテ正命ヲウクククククククククク

コトナキニアラス此レ子不知禮無以立也礼ヲ知ラザル時ハ動靜ニツイテ云コレヲ知ル

ニ君子ナリ

ワ多トアタハテ手足ノワカテ用ヒテ進退ヲナスコトヲ知ラス外儀カク

ノ如クナレバ心志モタ堅ク定マラスヨリテ此ノ身ヲ立ルコトナク

入也其ノ言得失ヲ必ヒラカニスバヨクククククククククククククククククククククク

言ヲ知ラスバ何ヲ以テカ人ヲ知ルコトヲアラン○尹氏ノ云ク此ノ三ツノ者ヲ知ル時ハ則君子ノ事

ナル兄弟子コレヲ記シテ以テ篇ヲ終フ心ナキコトヲ得ヤト益シ人ヨク命ヲ知リ礼ヲ知ル時

ハ内以テ己ガ徳ヲオサルニ足レリ言ヲ知ル時ハ外以テ人ノ情ヲツクククククククククク

クナレレナリ凡ノ聖人ノ人ヲ教ルコトヲ人ヲ教ラレシムク欲スルニスキスヨリテ此ノ書ノ記

ヲ始ムルニモ君子ノ学ヲ以テコレヲ終フルニモ亦君子ノ事ヲ以テスコレニテ記者ノ心アル

処ナカク尹氏又云ク学者ワカウコトヲヨミ若クテ一言ノ用スレトスルコトヲ知ラスハ聖言ヲアテ

トルニチカラサランヤ夫子ノ罪人ナリ念サルヘケンヤト按スルニラレ一部ノ論語聖人教ヲタル

四書國字辨論語卷十 大尾

忠誠至リテ切ニソノ恩澤至リテ深シフガトモカラ朝タコレヲ講ジコトヲ説キナガラソノ身ニ驗ム

ルコトナキ者ハ聖言ヲアテドレノ罪ソレ免ルコトヲ得ベケンヤ朱子ヲ篇ノ始ニツイテスデニ程子便チ

コレカツテヨマサルノ言ヲセテ篇ノ終リニ又尹氏聖言ヲアテトルニチカキノ説ヲトルコトノ寧

諄懇ニ學者ヲ敬言セル心亦至レリトイヒツレコレヲヨミテタタタカヘリニラニスバサル手ハ良

ニ此ノ書ヲ講論ノ守ゴトニトキ句コトニミガクトイフ氏已ニ益ナキ

必セリ豈恥ソヘキノ良レク畏ルキノラゴソカナルコトニアラスヤ

